

# 2018 パトロール事例検討会 実施記録

日 時 2018年11月25日(日) 17:00～19:15  
 場 所 そびあしんぐう 研修室3・4  
 主 催 福岡県ライフセービング協会設立準備委員会  
 特別招待 福島 圭介 (JLA 溺水事故防止救助救命本部 溺水事故調査委員会委員長)  
 実施内容 17:00～17:05 開会挨拶 (福岡県 LA 田原)  
 17:05～17:15 事例検討会の目的と意義 (JLA 福島)  
 17:15～18:05 【第1部】事例報告：事例発表 (新宮 LSC 佐藤)  
 18:05～18:10 休憩 (5分)  
 18:10～19:05 【第2部】事例検討：パネルディスカッション (福岡県 LA 鈴木)  
 パネラー：金田・大北 (新宮 LSC)、藤本・金井 (九産大 LSC)  
 19:05～19:15 総評 (JLA 小林)

参加者数 51名 (うち福岡県 LS 協会 LSC : 40名)

九産大 LSC	新宮 LSC	福岡 LSC	宮崎 LSC	CB 下関 LSC	JLA	その他
25名	11名	4名	2名	1名	7名	1名

アンケート結果 回答数：36名

## 1. 「事例検討会」の内容はいかがでしたか？

①非常に興味深い	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知らないことを知れた。</li> <li>・様々な浜の見方を知ることができ、知識を増やすことができた。</li> <li>・次はどう監視していくか、など話せれば</li> <li>・身近な海で起こった事故の事でリアリティもあり、とても興味深い内容だった。</li> <li>・新宮浜で起きた重溺についての話を聞いているうちに、もし、自分がその場にいたらどのように考えどのように行動したら良いかなど深く考えさせられました。いかに早く目撃者を目撃するかによって、それが救出にもつながるってことも分かりました</li> <li>・実際に重溺などを経験していなく、どんな状況で起こっているのか、どう対応すべきか知れる・考える機会になりました。</li> <li>・専門的な知識・経験をもとに、客観的に分析しており、興味深かった。</li> <li>・現在パトロールは行っていないが、イベントやレースパトロール、子どもたちへの教室の際にも充分考えられるシチュエーションだと感じた。</li> </ul>
②興味深い	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡の実際の事故事例を知ることができた。</li> <li>・数字が多く現場と思考のギャップが分かりずらかった。</li> <li>・実際に起こった事例を聞けることは自分の知識を増やせるのでいいと思いました。</li> <li>・他 LSC の現状や情報を知ることが出来た。</li> <li>・今回は事例の紹介がメインになっていた印象を受けたので。</li> <li>・内容は興味深いと思ったが、話が進んでいない気がした。</li> <li>・知らない知識を知ることができたため。</li> <li>・新しい知識が得られた。</li> <li>・新宮で起きた事例を聞いて、日頃のパトロールで生かせることがあったから。</li> </ul>
③どちらとも言えない	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がタイトだったので、検討会というよりは、とりあえず内容を一通りすることにウエイトを置いている感じがしました。</li> </ul>
④興味深いとは言えない	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案件に対しての状況説明 (パトロール体制など) や今後の課題についてもっと詳しく話してほしい。</li> </ul>

## 2. 「パネルディスカッション」のテーマはいかがでしたか？

①非常に興味深い	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ福岡県の海でパトロールしている人たちの現状を知ることができた。</li> <li>・もっとクラブを増やしてほしい。</li> <li>・新宮の浜のことを知れてよかったです。</li> <li>・各浜の現在抱えている問題を知り、みんなで解決策を考えられるから。</li> <li>・各浜の現状や課題を聞いて、今後は自分たちがどのような行動をしたら良いかなど分かりました。</li> <li>・三浜の良い面や悪い面を聞き、改善したり、取り入れることがあった。</li> <li>・他の浜を知る事ができた。</li> </ul>
----------	----	---

		・他クラブの活動内容が少しわかり、今後の関わり方を考えさせられました。
②興味深い	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの浜の状況が知れる。</li> <li>・メインテーマを決めた方が、意見交換をするならベストだと思う。</li> <li>・続けていくことを考えるなら、紹介だけだとときびしい。</li> <li>・各浜の問題点、皆さんの意識を共有・再確認できたので</li> <li>・定期的に意見交換・情報共有は必要だと感じた。</li> <li>・他クラブの現状や自クラブの事を見直すいい機会だった。</li> <li>・時間をもっととれると良いなと感じます。</li> <li>・福岡の浜をプレゼンのように討論するのは知らない浜のある僕たちにとっては良かったと思います。</li> <li>・改めて再確認できた。</li> <li>・これから色々なテーマについてパネルディスカッションをするのも良いかと。</li> <li>・クラブが抱える問題をパトロールから見る事ができた。</li> </ul>
③どちらとも言えない	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的にもう少し欲しかった。</li> <li>・時間が短くてチームの話になっていた。もっと多くのテーマについて話し合いたいと思った。</li> <li>・もう少し学生でも解決策を見い出せそうなテーマが良いなと思いました。</li> </ul>
④興味深いとは言えない	0	
無解答	1	・時間が短かすぎ

### 3. 「事例検討会」全体の時間設定・配分はいかがでしたか？

①適切であった	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中休憩はあと5分欲しかった。</li> <li>・あまり長々としても二転三転するだけなのでベストだったと思います。</li> </ul>
②長かった	0	
③短かった	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと質疑応答の時間がほしかった。</li> <li>・もう少し詳しく知りたかったです。</li> <li>・事例検討会もパネルディスカッションも時間が足りていない。</li> <li>・もう少し深く話を聞きたかったです。</li> <li>・初めて参加して、もっと話が聞きたいと思った。</li> <li>・伝える内容が多かった分、説明が浅くなってしまうところがあったので、次回は日時を考え直した方が良いと思います。</li> </ul>
④どちらとも言えない	5	・もう少し掘り下げてみたいとも思う。
無解答	1	・検討、ディスカッションする時間が短い。もっと絞ったテーマで一つ一つ丁寧に検討する方が良いのでは・・・。

### 4. 「事例検討会」の開催時期についてはいかがでしたか？

①適切であった	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズン前と後にやってみては？</li> <li>・年に数回は行いたいと自分は思った。</li> <li>・夏のパトロール活動が終わり、学生チームの1年生も比較的知識が少ないなりにもつけた時期であったため。</li> </ul>
②早かった	0	
③遅かった	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロール期間が終了した次の月ぐらいに行った方が良いと思った。</li> <li>・夏終わりの方が思いのこもった意見がでると思う。</li> <li>・パトロール期間が終わってから時間が経っているので、もうちょっと早い時期の方がイメージしやすいのでは（記憶もフレッシュという意味で）</li> <li>・できれば10月などに開催してほしいです。</li> <li>・9、10月か来年の夏に開いた方がよいと思った。</li> <li>・できればパトロール終了1ヶ月以内が良い。</li> <li>・もう少し早めに開催して、パトロールに対するモチベーションが高いうちにフィードバックしたかったです。</li> <li>・もう少し早い方が、じっくりと振り返れる。</li> <li>・パトロール開始前と9月～10月の間が適切かなと思いました。</li> <li>・もっと早いタイミングでやっていいと思う。</li> <li>・できれば9月・10月とかパトロール直後とかでもいいのかなと。</li> <li>・夏終わりにしたかった。</li> <li>・理想はパトロール前とパトロール終了して出来るだけ早めに開催した方がよいと思います。</li> </ul>
無解答	1	・パトロール前、事例が起こった後にすべきかなと。

### 5. 「事例検討会」の全体を通じていかがでしたか？

①非常に満足している	14	・もっともっと機会を増やす方が良いかも（各クラブ、各ライフセーバーのコミュニケーションの場を増やす）
②満足している	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから。さらなる改善をしてほしい。</li> <li>・いろいろな方の話や考えを聞いた。</li> <li>・情報の交換の面で学生チームとしては、必要と感じた。</li> </ul>
③どちらとも言えない	3	・全体的に何をしているのかがいまいちだった。
④満足していない	1	・時間を長めにとってくれれば話し合えると思うので、今回の検討会はちょっと短いかなと思いました。

### 6. あなたにとって何が「学び」となりましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の浜を知ること。</li> <li>・各浜の穴を再度確認し、思考の種となった。そこから方法など考えやり方があることを知れたこと。</li> <li>・自分に足りない視点。連携の大切さ。情報収集など。</li> </ul>
---

- ・様々な環境・問題を聞いたこと。
- ・レスキュースキルや目撃・情報の重要性、経験など。
- ・先入観を持たない。
- ・事故のときの対処
- ・視野を広げて、様々な意見を聞くことで、考えることができ、幅広い自分の意見をもつことができた。
- ・救命士への引継ぎで大事なこと。無駄をなくす、意識アリ・ナシをきく
- ・ペーパーシミュレーション、シミュレーションは想像力が必要。それに伴う判断力、実際行動する際のスキルはとても必要。もっと身近にシミュレーションを取り入れて想像を意識した活動ができていたら良いなとも思いました。
- ・いざというときに自分がどう動くか、日常からシミュレーションを行うこと。
- ・他浜の状況等
- ・各浜でのマネージメント
- ・実態を知るきっかけになった。
- ・学生だけでは考えられないことや体験などが学びになりました。
- ・実例やプロの考えなど様々なこと。
- ・色々なクラブの現状を知れたので良かった。
- ・救急隊が必要な情報など。
- ・色々な経験や知識が蓄積がある。
- ・異なる浜における問題点や事故に対するシミュレーションの方法などを知れて、来年のパトロールまでの練習に明確な目標を見つけることができました。
- ・事故の前兆の見極め方。
- ・各クラブの話が聞いて良かった。
- ・各浜が導入しているシステム。
- ・経験したことを行動したり、考えること。
- ・福岡の浜をもっとみんなで共有して、問題を改善の方向にもっていったのは良かったと思う。
- ・情報。今後についての。
- ・今後のパトロールで活かせる部分があった。
- ・統計からみる新しい発見や知識を学べたことが大きい。
- ・水上バイクとの関わり方について。
- ・これからのチームの技術 up するために何をすべきかが分かった。
- ・学生チームに足りないこと。福岡のライフセービングに足りないものが明確になったと感じた。
- ・全体的に学べた。日頃の意識が不足しているなあと少し反省しています。子供たちへの教育としてもシミュレーションを取り入れていきたいとも思いました。
- ・他クラブの事例を共有し合えるのは私にとって「学び」になりました。

7. 今後事例検討会で扱ってほしいテーマや、どんなことがしたい、など希望があれば記入してください。

- ・たくさんの福岡のクラブとの交流事業
- ・各チームのメンバーマネジメントについて
- ・イベントの検討。PR するためにはどのようなことをすればよいのかなど。
- ・行政との関係づくり、リクルート
- ・シミュレーションのディスカッション
- ・スキルの情報共有会とか・・・アドバンスなどの講習会だけでは時間的に内容を理解するには足りないと思います。
- ・ビーチのガードだけでなく、最近増えているトライアスロンのガードなど。溺者の判断が難しい。
- ・定期的に行いましょう！
- ・シミュレーションの回数を増やしたいです。
- ・九州クラブと JLA の関係について
- ・消防士や看護師などの方から専門的な話を聞きたい。(大学生では知っている人がいない)
- ・チームの発展。していかなければならないこと。
- ・経験豊富な方の講演会、ディスカッション、討論会等。
- ・グループワークで課題解決。
- ・チームの技術・成長させていくためにしていること。
- ・人材の育成について。
- ・グループディスカッションをしたいです。

写真





## 総括

当該事例検討会は、まだ設立準備委員会ではあるが、福岡県ライフセービング協会として初の事業であり、神奈川県外ではおそらく初となる地方での事例検討会の開催となった。県協会の予算がまだないため、JLA 溺水事故防止救助救命本部予算を工面していただき、福島氏にお越しいただけた。次年度以降は県協会独自の予算で、更に良い事例検討会とすることが臨まれる。また、神奈川県での事例検討会実績のある福島氏と新宮 LSC へ移籍した佐藤氏のご協力がとても大きかったことは特筆すべきである。

全体的には、良い学びの機会となった参加者が多かったことがアンケートからもわかり、初回としては概ね効果的であったといえる。また、第1部の事例報告では、「勉強になった」などの意見が多かった。第2部のパネルディスカッションでは、「各浜のことを知れて良かった」などの意見が多く、活発な議論が展開されて有意義な時間となった。

しかし、「開催時間が短い」との意見が多かった。飽きずに満足してしまう前で終了する時間設定の意図もあったが、時間設定や時間配分については次年度再検討する余地がある。

また、開催時期について「遅い」との意見が多いが、これらは福岡県の夏パトロール時期のみ盛り上がってオフシーズンは盛り下がる、福岡の地域特性の現れであると感じる。年間通してパトロールや救助救命について考えてもらい、通年で訓練することを狙って、また、多くの人が集まったのシミュレーション審査会後の流れで事例検討会を開催するメリットも大きい。これらを踏まえて次年度は開催時期についても慎重に再検討する余地がある。

他にもグループワークや専門的立場の方の講演会、回数増などの良い案を多数いただいたが、当該事例検討会のみならず、これらのような別の機会を創出していくことも今後の課題である。

福岡県ライフセービング協会設立準備委員会 田原 幸佑